

県社保協ニュース

28期 No.1

連絡先 電話 054-287-7355 FAX 054-287-7356

Eメール Kodaken0620@yahoo.co.jp

静岡県社会保障推進協議会

事務局長 小高 賢治

地域社保協づくりをすすめ、地域で運動を広げよう！

〈静岡県社会保障推進協議会 第28回定期総会開催〉

県社会保障推進協議会第28回総会が2月23日、昨年に引き続きオンライン開催で13団体・23名の参加で行われました。今回は記念講演を行わず、その代わりに地域社保協や各団体での活動交流に時間をとって行われました。総会はず、小高事務局長から2021年度の総括、2022年度の方針等の議案の提案のあった後、鈴木せつ子県会議員から県政報告等があり、「今、コロナ禍でもっとも深刻なのは、病院の医師、看護師も濃厚接触者になると仕事ができなくなっている方が1割以上いるので、患者さんの受け入れをできないということ。予算化では静岡県の独自の手立てとして2月と3月の2カ月間だけだが、すべての業種の皆さんにコロナによって減収してしたことが明らかであれば、応援金を支給することになった。これはまん延防止等重点措置をしている16県のうちの静岡県含めて6県だけなので業種の皆さんへの応援の姿勢は示しているのではないかと思う。また親の仕送りも減ってきている下で、青年の皆さんが県に要請をしたがその効果もあって、大学生の支援という事で事業費10億円を予算化（一人当たりでいうと年間5万円）した。ようやく県がここに（施策を）踏み切ったが社会をこれから担う学生に対してのことであり、増額するよう運動をしていきたい」と連帯の挨拶がありました。



5つの地域社保協、3つの加盟団体から学べる、元気の出る報告が！

続いて各団体からの発言あり、「介護・医療と社会保障を考える市民の会（浜松）」からは「国保をよくする会」や地域医療を守る会にも加盟をして署名に取り組んでいる。昨年度は、2020年9月と2021年3月に浜松市との懇談会を実施。毎年要望書を事前に提出し、文書回答をもらい、回答に対して懇談交渉を実施。「静岡市医療と福祉をよくする会」からは毎年国保料引き下げ署名に取り組み、数年前には2年連続引き下げをさせ、国保運営協議会へも市民公募枠（4人）の内1人を私たちの仲間が参加して、事前資料で対策の会議を持って臨み市民の立場で論戦していると報告。「掛川の地域医療をよくする会」からは国保運営協議会について、今年2022年度が運営委員の3年に1回の改選の時期にあたるということで、地域医療をよくする会と掛川生健会とで要望書を提出し、全て認めた回答が寄せられた。併せて補聴器助成の取り組みも頑張っているとの報告が。「三島市医療と福祉をよくする会」からは地域包括支援センターを中学校区ごとに設置せよと求め、4か所から5か所に増設し、人員確保等の体制づくりも指導していくとも回答も得たと。「浜松・国民健康保険をよくする会」からは長年に渡る署名等の運動の成果が実り、浜松の国保運営協議会は1月13日、2022年度から国保料の引き下げを市長に答申し、2月議会にかけられた。浜松が2005年に合併して以来初めて、世帯当たり5千円で総額で5億円の引き下げを勝ち取れたとの報告がありました。5つの地域社保協、またその他、「静岡県保険医協会」「静岡県生活と健康を守る。」「障害者（児）の生活と権利を守る静岡県連絡協議会」からの活動報告があり、方針を深め、学びわ会う有意義な総会となりました。